



新年のごあいさつ

生活協同組合コープぐんま
理事長 中村 隆夫



新年あけまして

おめでとーございます。

組合員の皆さまには、日頃よりコープぐんまの購買・共済・福祉の各事業のご利用と活動にご参加・ご協力いただき、心から御礼申し上げます。

2018年、日本列島は、大雪に始まり噴火、豪雨、地震、台風など様々な災害に見舞われました。これらの災害によって、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震、そして東日本大震災の復興支援では、多くの組合員の皆さまに募金の取り組みに参加して頂き感謝申し上げます。自然の脅威をあらためて感じ、更なる防災の取り組みの重要性も認識致しました。

昨年、コープぐんまでは、桐生市のコープぐんま旧本部棟を活用してNPO桐生市ボランティア協議会が運営する高齢者の居場所作り「まぢのえんがわ」の開催に協力するなど、他団体とも協力して、より良い地域づくりへの貢献に努めてまいりました。また、田植えや稲刈りなど農作物の収穫や販売体験を通して、子ども達の食育に取り組み、沼田市「市民の森」での森林づくりなどの環境の取り組み、「ピースクラブ」での子どもたちの平和学習など平和について取り組み、連続講座「完璧な親なんていない」の開講など子育て支援にも取り組みました。組合員による商品活動では、お取引先と組合員が直接ふれあひながら、コープ商品の良さを実感していただく「ふれあい試食会」を県内4ヶ所で開催し、2,000人以上の方に参加していただきました。

構成に関心を持っていただき再生可能エネルギーの普及を進めるために、電気小売事業を開始しました。また、福祉事業では、今年秋の事業開始に向け、高齢者向け住宅、通所介護、訪問看護事業所の開設準備を進めています。

2019年も、高齢者や子育て支援、貧困格差問題などに取り組みながら、だれもが住みやすい地域づくりのために、行政をはじめ、地域諸団体と協力して、積極的な取り組みを行います。

また、2015年、国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。これは、未来にわたって地球と社会が望ましい形で持続できるよう、2030年までに実現すべき17の目標として掲げられたものです。これらの目標は、貧困・飢餓などの経済的問題や、差別・不平等といった社会的問題、そして地球

温暖化や生物多様性など環境問題の統合的解決を目指しており、その重要性が理解されるにつれ国内外でSDGsに対応した取り組みが広がってきました。この目標とコープがってきました。この目標とコープが広がってきました。この目標とコープが広がってきました。この目標とコープが広がってきました。

今年も、組合員の皆さまのご協力をいただきながら、くらしと地域のさまざまな課題、要望に応える事業や取り組みをすすめていきます。

今年が、組合員の皆さまにとって、より良い年になりますようお祈りいたします。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

2019年 元旦

